

鶴田町農業大学講座

2月24日(水)～26日(金)まで

鶴田町農村環境改善センター「豊萌館」において「平成21年度鶴田町農業大学講座」が開催され、延べ120人の受講生(主に農業経営者)が、生産技術向上や経営の安定化について学びました。

- ・講義では、
- ・戸別所得補償制度について
- ・「リンゴと他果樹との複合栽培」収穫期分散による収入確保
- ・最近のリンゴ情勢
- ・枝豆の実証試験栽培の結果
- ・地産地消で深まる消費者との絆
- ・町を売り込むための戦略販売などを学び、また視察研修では、
- ・空気膜ハウスで省エネ栽培(トマト栽培/弘前市)
- ・冬場無加温栽培で二毛作(トマト・レタス栽培/平川市)



△熱心に耳を傾ける受講生の皆さん

・鶴田町での無加温栽培

(冬場のレタス栽培/沖・小坂 総元さん)

などを視察しました。生産や販売に直結する魅力ある講座に、参加された受講生は熱心に耳を傾け、また講師に多くの質問を投げかけていました。



△小坂総元さんのハウスで無加温レタスの栽培を視察



△消費者に農村の魅力を発信している、五所川原地域VIC・ウーマン「ひまわりの会」会長 斉藤久子さん



△最終日、参加者を代表してみどりの会会長 釜澤和也さん、中野町長から修了証が手渡される



△都市部への販売戦略を熱く語る県農林水産部 平舘稔彦 総合販売戦略課長



△町農業支援センターで実証試験栽培した「枝豆」について報告する西北地域農政局農林水産部 下山ひろみ技師

タラの芽見学会を開催

3月3日(水)、冬場の振興作物として一昨年から町で実証栽培している「タラの芽」について、

鶴田町農業支援センターが「タラの芽見学会」を同センター長山本一郎氏(副町長)のハウス内ほ場で開催しました。

今回の見学会には、栽培に興味のある農業経営者11人が集まり、ハウス内の駒木(穂木を約15cmに切り揃えたもの)や生育状況などを見学しながら山本センター長の説明を熱心に聞いていました。



△育苗箱に並べられた駒木。切り口から樹液がしみ出しカビが発生するので、1週間間隔で動噴で洗い流す。ハウス内の温度は18度に設定し管理している。



△ハウス内を撮影する参加者の皆さん

【広報つるた有料広告欄】

よしだ耳鼻科・小児科
耳鼻科・小児科・内科・アレルギー科

いびき・睡眠時無呼吸でお悩みの方、ご相談下さい

耳鼻科・救急 三島 小児科・救急 藤子

予約専用受付電話

0172-33-2306

〒036-8155 弘前市中野町2-1-15 <http://www.yoshida-jk.com/> (PC・携帯)
平日/AM9:00-12:00・PM3:00-7:00 土曜/AM9:00-1:00 休診/日・祝日

■問い合わせ先 総務課まちづくり班(内線)

— 地域と共に歩む —

りんごの仕入れと販売の情報は

(株)津軽りんご市場

青森県津軽郡大津町 大津 青森県津軽郡大津町 大津 青森県津軽郡大津町 大津

〒036-3684 青森県津軽郡大津町大字三千石字二瀬21-3
TEL 0172(72)1211 FAX 0172(72)1229